

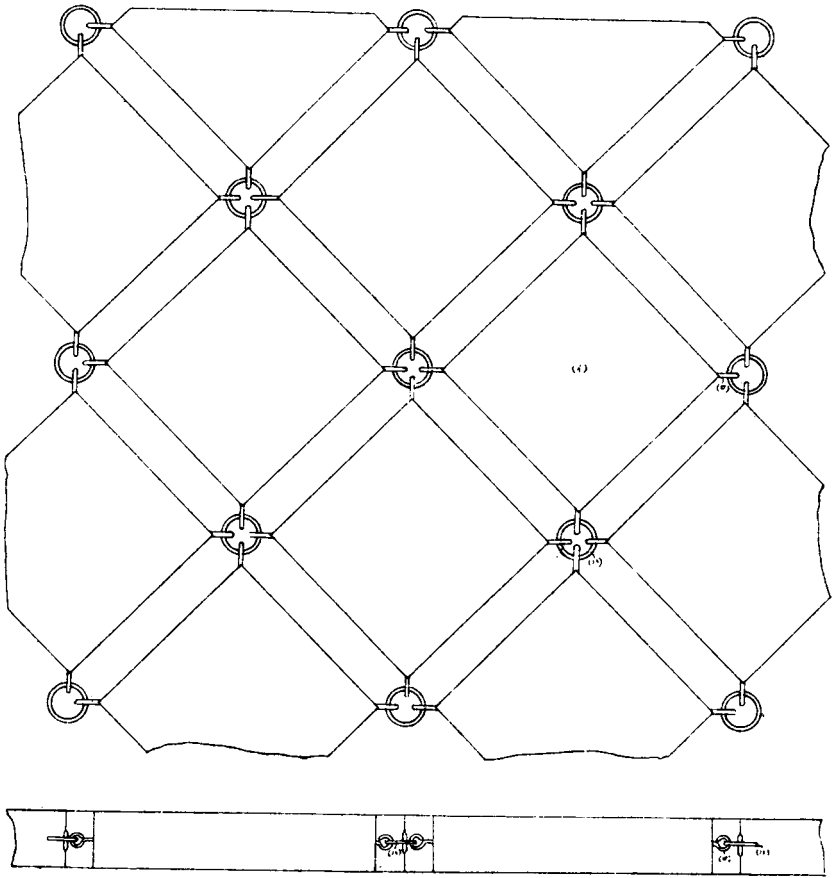
の厚さは上端五寸下端一尺かり鐵筋は水頭の減するに従て漸次少なくす水壓鐵管は總延長千八百四十七尺のもの一條にして内上部千二百九尺を銜接鐵管とし殘餘六百三十八尺を鍛接管とす銜接管は流入口内徑五呎四時に始より下端四呎拾時に減徑し板の厚さは壓力に従ひ四分の壹時より八分の三時に至る鍛接管は内徑四呎八吋四分の一に始まり下端四呎二吋八分の三に減徑し板の厚さは八分の三時より十六分の九時に至る伸縮接手は銜接部に三ヶ處鍛接部に二ヶ處あり發電所建家は梁間三十呎桁間九十六尺高さ二十四尺にて鐵筋コンクリートにて築造し十五噸手働起重機を具ふ變壓室は發電室と鍵の手に建築し梁間二十一尺桁間九十尺軒高十八尺の鐵筋コンクリート作りとす水車はエツシャーツキツス會社製四千五百馬力及千五百馬力各一台にして發電機はジョーイー會社製三千キロワット及一千キロワット各一台とす

以上は土木工事中の主要あるものゝみあるも總て鑛山經營の常として無人の境を拓きて一大工場並びに之に伴ふ市街を作るものなれば各種の土木工事頗る繁多に且つ鑛山も開業日尙淺く擴張改良常に相踵げるを以て八百人の土工、二百人の木工は四季を通じて工事に従事し殆んど寧日なきが如し

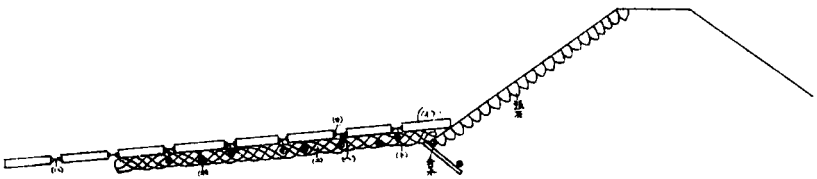
## ○ 雜 記

○ 混 凝 土 沈 床 准員北村多賀太郎氏は混凝土沈床を考案し特許(第一〇八六〇號)を得られたり其構造の主要は第一圖の如く三尺五寸角厚さは場所により差ありの混凝土版の各隅角に鐵鈎鑿を築込み此鈎鑿を貫く鐵鑿にて四個の版は對角線に於て連絡せられ此の如くして版は互に連絡せられ所要の大きさとなるかり考案者は河川を急流あるものと中流あるものと緩流あるものとに區別し安定度を算出し版の厚さを異にし用法をも分ちたり今考案者が急流部に適用せんとしたる一例を示せば次の如し

圖一第



圖二第



先づ混凝土板(イ)沈下配列の始めに河床の埋均を了し第二圖の如く唐竹にて蛇籠編籠若しくは鐵鍊にて電線籠(ニ)を製作し流水の方向と直角に布き並べ籠貫(ホ)を横に貫通し各別の移動を防ぎ是れと全様に更に徑四分乃至六分位の丸鐵を可成籠の内部下端に近く貫し置く是を根止鐵(ト)と云ふ而して沈床止鐵(ハ)の根止となす此沈床止鐵(ハ)は兩端に適宜の圈形を爲し下端圈部は根止鐵(ト)に依て豫定の場所に定着し上端圈部は籠の上面に露出せしめ籠の内部に詰石を爲し上部に適宜に混凝土板(イ)を配列し該沈床止鐵(ハ)の上端圈部か混凝土板(イ)の軸鐵環に掛り混凝土板(イ)と籠(ニ)とが相互に連絡せしむる如くせば混凝土板(イ)厚を増さずして直壓力を増大せしめ如何なる洪水に遭遇するも流失するの虞なく且河底の小石若くは礫等混凝土板(イ)の間隙より流失する懸念なく頗る經濟的にして最大安全なりと云ふにあり

○三菱合資會社本社新築設計に關する詳細(前卷五八九頁參照) 三菱合資會社にては本店新築に關し廣く一般より懸賞を以て是れが設計圖案を募集しつゝあり之に關し應募者中より各種の質問を同社に爲し來れる由あるが今聞き得たる同社の意向及應答を左に記し本會員中將に之れが應募者たらんとするものの參考に供す

### 三菱合資會社本社新築設計懸賞競技に關する件

- 一、應募設計にして競技規程處定の各條件に適合するときは、應募者に於て同規程第二十條に據る供託金を納付せざりし時と雖も豫選競技に加入せしむべし但し右供託を爲すにあらざれば設計考案に必要な書類及圖面を交付せず
- 二、應募者一人にして數通の設計を提出するを妨げずと雖も其の二案以上が入選したる場合には賞金の贈與は一口に限る